

吉崎さん・金井さんのおすすめ

café le cocon (カフェ ル ココン)
ガレットとクレープのお店

前橋市千代田町 3-2-12



広瀬川に架かる鰐橋の西側。赤い看板が目印のガレット屋さん。店内は、シンプルなつくりの中に、いきいきとしたグリーンや赤いチェックのテーブルクロスが映える、上品で可愛らしい雰囲気になっている。ガレットという食べ物のもつ文化やその世界観に引き込まれた店主が、ガレット専門店やフランスでの研修などを経てオープンした。

前橋出身の店主と金井さんは、カフェとアパレルを取り扱う都内のお店時代に同じ職場だったというのも本当に不思議な縁。

「とにかくガレットが美味しいです。そば粉を使っているからか、そば茶がよく合いますね。ふらっと立ち寄ってコーヒーを飲むにもぴったり。前職のつてを活かしてこだわりの野菜を仕入れているのも素敵。なにより、店主のおとつとしたキャラクターが魅力です（笑）」と金井さんが楽しそうに語ってくれた。

まちのシンボル 太陽の鐘



まちなかを流れる広瀬川のほとり。諏訪橋近くの小高い森の中にひっそりと佇む“太陽の鐘”。大阪の“太陽の塔”などで有名な芸術家・岡本太郎さんの作品です。前橋ビジョン「めぶく。」を形にして前橋の新しいシンボルにしようと、所有していた日本通運から寄附を受けた前橋市とまちづくりに取組む太陽の会をはじめ、縁ある方々との協力によって設置されました。この場所は、世界的な建築家・藤本壯介さんがデザインしたことで国内外から注目を集めています。普段はつけませんが、イベントなどでは実際につくことができます。つき棒の長さが24メートルもあるので、みんなで協力してつかなければ鳴りません。みんなで同じ方向に向いて取組むことで「めぶく。」何かが生まれるかもしれない。そんなことを太陽の鐘を通じて感じてもらえた嬉しいです。



イベントで手作りのお菓子を販売する吉崎さん。様々なイベントへの出店を通して人のつながりが広がっていく。



中央通り商店街に昨年オープンした和菓子店『なか又』で働く金井さん。菓子作りの経験を生かして活躍している。



前橋で働くようになりました。いま勤めている「なか又」は、オープンしてから半年ほど。仕込みや新商品開発など積極的に店づくりにも関わらせてもらい、楽しく働いています。売り上げや来客数に波があるのは大変なことですが、なによりお客様が来てくれるということがとにかく嬉しくて。中には、東京から『インスタ見て来ました～』なんという方も本当にありがとうございます！

前橋での生活が日々楽しくなっていく

ふと吉崎さんが、沸かしたお湯を茶葉に入しているという玄米茶の芳ばしい香りがリビングルームに広がっていく。吉崎「ちょっとずつ人とのつながりが増えてきましたね。料理教室・オーダーをいただいて作るケーキ、手作りのお菓子で参加するイベント出店が日頃のお仕事なのです。ですが、こうした機会はみんなつながりのおかけ。例えば、この茶葉を購入しているお茶屋さんの駒井園さんでは、この期にそのお茶に合うお菓子を作らせてもらっています。ブランド力も経歴もない



「おいしいあさね房」
吉崎 亜紗子さん

「なか又」勤務
金井 沙織さん

前橋でつながった、お菓子なご縁



お菓子を作りながら前橋時間を楽しむ2人の女性がいる。フレーランスのお菓子作家

で「おいしいあさね房」主宰の吉崎 亜紗子さん（29）は、神奈川県川崎市出身。あさやかなブルーをまとったオープンまもない和菓子店

「なか又」働く金井沙織さん（29）は、群馬県桐生市出身だ。彼女たちは、都内の同じ大学に通っていた上に、ほとんど同じタイミングで群馬へ拠点を移した。さらに今では同じまちでお菓子づくりに励んでいるという、なんとも不思議な縁でつながっている。桐生に住む金井さんも、職場のある前橋への移住を検討中だという。

若くてエネルギーのある女性が集まってきた

吉崎「移住を決める前、東京の時はずっとお店勤めをしていました。パティシエとして修行というよりは、カフェでランチやデザートを作るような感じで。前橋に来る直前は、赤坂の日本酒を扱うお店で料理をしながら、お酒に合うスイーツを作ったりしていましたが、移住のタイミングでお店を辞めることになったので、『それならフリーランスになつてみよう』と勢いだけでフリーのお菓子作家を始めたんです。パートナーの暮らすまちに移住するという状況でしたが、特に人脈も何もなく、今思うとなんて無謀なことを

お菓子を作りながら前橋時間を探しむ2人の女性がいる。フレーランスのお菓子作家で「おいしいあさね房」主宰の吉崎 亜紗子さん（29）は、神奈川県川崎市出身。あさやかなブルーをまとったオープンまもない和菓子店「なか又」働く金井沙織さん（29）は、群馬県桐生市出身だ。彼女たちは、都内の同じ大学に通っていた上に、ほとんど同じタイミングで群馬へ拠点を移した。さらに今では同じまちでお菓子づくりに励んでいるという、なんとも不思議な縁でつながっている。桐生に住む金井さんも、職場のある前橋への移住を検討中だという。

ただ、もともと前橋には、おばあちゃんの家があつたんですよ。小さい頃から何度も訪れていたので、私にとっては故郷のような場所でもありました。何の抵抗もなく拠点を移すことができたのは、おばあちゃんのおかげでもあつたんでしょうね」金井さんは、はなから群馬に戻ろうと思つていたわけではなくって。都内での仕事を辞めてから海外生活や旅行などで出費がかさんでいたので、一旦実家に戻つてアルバイトでもしながらお金を貯めて、ある程度資金が貯まつたらまた東京に戻ろうかなと思っていました。ところが、そのまままるで……（笑）。

そうしている間に、亜紗子ちゃんの他にも、面白い友達が群馬に戻ってきていました。それが、亜紗子ちゃんが触発されて、自分でこのまま群馬に残つてみようかなと考えるようになりました。お店を持ちたいという夢があつたわけではないのですが、亜紗子ちゃんができるみたいだと、ついで亜紗子ちゃんから話を聞いて、自分が挑戦したいと考えるようになります。そうして辿り着いたのが、なつかしさやおしゃれな和菓子屋さんができるみたいだよ』って亜紗子ちゃんから話を聞いて、『えつ!?』て。もともと和菓子が好きだったんですね。特にあんこが大好きで

吉崎「まさか、働くことになるとは思つてませんでした（笑）。ただ、普段の生活という面では暮らしがちで、このまま群馬に移り住むのがお互いにこれから群馬に移り住むというタイミングで」金井「そうしたら、大学を卒業してから数年後のある日、共通の友人の結婚式で亜紗子ちゃんと一緒に再会したんですよ！それ以来は車通勤だと片道1時間ということもあり、移住したいです。今日がいいきっかけになればなって（笑）」

もみませんでした！」

金井「亜紗子ちゃん、いい情報を本当にありがとうございました（笑）」

吉崎「ところで沙織ちゃんは、いつ前橋に引っ越してくるの……？」

金井「いつも亜紗子ちゃんから『飲みに行

こうよ』って誘われるんですが……引つ

越し先を探すと言い出してから、もう1

年くらいは経つっています（笑）。桐生→前橋間は車通勤だと片道1時間ということ

もあり、移住したいです。今日がいいきっ

かけになればなって（笑）」

同じ大学から同じまち、お菓子づくりの道へ

吉崎「沙織ちゃんとの出会いは、都内の大学でした。友達の友達という感じではあります。出身が群馬ということは知つたものの、自分が群馬といつても、このまま群馬に残つてみようかなと考えるようになりました。お店を持ちたいという夢があつたわけではないのですが、亜紗子ちゃんが触発されて、自分も何か挑戦したいと考えるようになります。そうして辿り着いたのが、なつかしさやおしゃれな和菓子屋さんができるみたいだよ』って亜紗子ちゃんから話を聞いて、『えつ!?』て。もともと和菓子が好きだったんですね。特にあんこが大好きで

吉崎「まさか、働くことになるとは思つて

いたんだろうって（笑）。

ただ、もともと前橋には、おばあちゃんの家があつたんですよ。小さい頃から

何度も訪れていたので、私にとっては故

郷のような場所でもありました。何の抵

抗もなく拠点を移すことができたのは、

おばあちゃんのおかげでもあつたんでしょうね」

金井「私は、はなから群馬に戻ろうと思つていたわけではなくって。都内での仕事

を辞めてから海外生活や旅行などで出費

がかさんでいたので、一旦実家に戻つて、

アルバイトでもしながらお金を貯めて、

ある程度資金が貯まつたらまた東京に戻

ろうかなと思っていました。ところが、

そのまままるで……（笑）。

そうしている間に、亜紗子ちゃんの他

にも、面白い友達が群馬に戻ってきて

いました。それが、亜紗子ちゃんが触発され

て、このまま群馬に残つてみようかな

と考えるようになりました。お店を持ち

たいという夢があつたわけではないので

すが、亜紗子ちゃんが触発され、自分

も何か挑戦したいと考えるようになり

ました。そうして辿り着いたのが、なつか

しさやおしゃれな和菓子屋さんができるみたい

だよ』って亜紗子ちゃんから話を聞いて、『えつ!?』て。もともと和菓子が好きだつたんですね。特にあんこが大好きで

吉崎「まさか、働くことになるとは思つて

いたんだろうって（笑）。

ただ、普段の生活という面では暮らし

がちで、このまま群馬に移り住むのが

お互いにこれから群馬に移り住む

というタイミングで

吉崎「二人ともお菓子を作るのが好き

だったこともあってか、ものすごく盛り

ついたので気になつていました（笑）。

金井「そうしたら、大学を卒業してから数

年後のある日、共通の友人の結婚式で亜

紗子ちゃんと一緒に再会したんですよ！それ

もお互いにこれから群馬に移り住む

というタイミングで

吉崎「二人ともお菓子を作るのが好き

だったこともあってか、ものすごく盛り

ついたので気になつていました（笑）。

金井「そうしたら、大学を卒業してから数

年後のある日、共通の友人の結婚式で亜

紗子ちゃんと一緒に再会したんですよ！それ

もお互いにこれから群馬に移り住む